

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月24日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市熱田区神宮四丁目3番36号	
氏 名 名鉄E I エンジン株式会社	
代表取締役 浅野 直 宏	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-678-1771	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	名鉄E I エンジン株式会社
事業場の所在地	愛知県名古屋市熱田区神宮四丁目3番36号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	08：設備工事業
②事業の規模	元請完成工事高：154億円
③従業員数	510人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事全般 がれき類 →再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、燃料として再資源化 鉄道工事 陶磁器くず →処理業者に委託して埋立て処分 木くず（電柱等）→処理業者に委託して、再生原料又は燃料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 社長 (廃棄物管理総括責任者) 担当役員 └─内部統制・安全品質監理室 (法規制登録、管理、内部監査、産業廃棄物管理票交付状況報告) └─排出部署の部署長 (産業廃棄物管理責任者、保管場所管理、産業廃棄物管理票交付)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	2, 3 4 0 . 2 8 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 不要資材 (端材等) の発生量を減少させるため、綿密な工程管理に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	1, 4 0 0 . 0 0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 発注者に対し、廃棄物発生削減を考慮した発注を働き掛ける。 ・ 引き続き、不要資材 (端材等) の発生量を減少させるため、綿密な工程管理に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類、廃プラスチック類、金属くず、木くず、陶磁器くずはそれぞれに分類して、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	——— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	——— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	2, 3 4 0. 2 8 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1, 1 6 3. 0 1 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	2, 1 1 4. 3 0 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	——— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	——— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 法令に基づく、処理業者に対する定期的な実地確認を行った。 ・ 産業廃棄物についての社員教育を計画・実施した。（不法投棄・特別管理産業廃棄物）		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全 処 理 委 託 量	1, 4 0 0 . 0 0 t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1, 1 0 0 . 0 0 t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 2 5 0 . 0 0 t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	——— t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	——— t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 処理業者の選定は、優良認定処理業者を優先する。 ・ 法令に基づく、処理業者に対する定期的な実地確認を行う。 ・ 産業廃棄物の社員教育を計画・実施する。(不法投棄・特別管理産業廃棄物)		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙（第2面）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状【前年度（令和6年度）実績】

（単位：t）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず
排 出 量	0.44	0.18	0.60	8.93	1.50

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物）	がれき類
排 出 量	17.50	16.65	41.50	1.33	2,107.68

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	石綿含有ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石綿含有廃プラスチック類
排 出 量	39.52	98.96	1.00	4.50

②計画【目標】

（単位：t）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず
排 出 量	0.30	0.10	0.40	5.30	0.90

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物）	がれき類
排 出 量	10.00	10.00	25.00	1.00	1,260.00

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	石綿含有ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石綿含有廃プラスチック類
排 出 量	23.70	60.00	0.60	2.70

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 【前年度(令和6年度)実績】

(単位: t)

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	0.44	0.18	0.60	8.93	1.50
優良認定処理業者 への処理委託量	0.00	0.18	0.00	8.93	1.50
再生利用業者への 処理委託量	0.00	0.18	0.60	8.93	0.00
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶 磁器くず	ガラス・陶磁器くず (水銀使用製品産業 廃棄物)	がれき類
全処理委託量	17.50	16.65	41.50	1.33	2,107.68
優良認定処理業者 への処理委託量	0.00	16.65	41.50	1.33	952.68
再生利用業者への 処理委託量	17.50	16.65	0.00	1.33	2,060.62
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃 棄物	管理型建設混合廃 棄物	石綿含有ガラス・コン クリート・陶磁器くず	石綿含有廃プラスチ ック類
全処理委託量	39.52	98.96	1.00	4.50
優良認定処理業者 への処理委託量	39.52	96.23	1.00	3.50
再生利用業者への 処理委託量	5.77	2.73	0.00	0.00
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	0.30	0.10	0.40	5.30	0.90
優良認定処理業者への処理委託量	0.30	0.10	0.40	5.30	0.90
再生利用業者への処理委託量	0.30	0.10	0.40	5.30	0.90
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず (水銀使用製品産業廃棄物)	がれき類
全処理委託量	10.00	10.00	25.00	1.00	1,260.00
優良認定処理業者への処理委託量	10.00	10.00	25.00	1.00	960.00
再生利用業者への処理委託量	10.00	10.00	0.00	1.00	1,200.00
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	石綿含有ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石綿含有廃プラスチック類
全処理委託量	23.70	60.00	0.60	2.70
優良認定処理業者への処理委託量	23.70	60.00	0.60	2.70
再生利用業者への処理委託量	9.00	13.00	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00